私はこの世界を司る　あなたは宇宙に存在する要素

　手のひらよりも少し大きなリングノート。誇りっぽく、黄焼けし、経年による劣化で脆く柔らかい手触りになったノートには、たしかに見覚えがあった。何十年も前に使っていたアイディア帳。どこかにしまい込んで忘れてしまったものを偶然に見つけた。開いてみると今のわたしのものではない荒っぽい筆致の、だけど親しみのある人物の情報が溢れ出す。メモの数々、スケッチ、いたずらがき、読むべき本のリスト、そして日記。ある年の四月二十日から六月二十日の間だけの日記。気まぐれなのか、目的は思い出せない。

4/20. 金　早朝、▲からメールが来た。「行ってきます。詳細はのちほどメールください。」とあった。
本当は昨夜のうちに電話しておくべきだった。飲み過ぎてしまったことを酷く後悔した。
夫へ「別れましょう」とメールしたことについての後悔はない。
昼間は国立西洋美術館で常設展示を観た。ここで魅かれる絵※は《荊冠のキリスト》と《ヴァニタス》。いつ来ても変わらない。【絵＝絵画：観念の可視化。封じ込める機能を持つもの。】
TARO NASU gallery で《ジョナサン・モンク展》、ギャラリーハシモトの友人の個展を廻った。その後、神田の〈葡萄舎〉でひとり飲み。同じくひとり飲みの女性と語らいながら飲み過ぎる。

4/21. 土　体調不良。友人の個展オープニングに出掛ける予定だったが控える。
昨日、もう一人のわたしがパリへ発った。一つ目の理由は、彼自身の商材の買い付けのため。もう一つの理由はわたしとの約束を果たすために。早くキーワードを提示しなければならない。

4/22. 日　やっと十種のキーワードが浮かんだ。

▲へメール　[おつかれさま]

▲さま

お疲れさまです。

アドレス、どれが生きているのか分からなかったので、４ヶ所に送っています。

それで、買い付けのキーワードですが、以下の 10 個でお願いしたいと思います。

①　火
②　水
③　気 (空気)
④　土
⑤　私
⑥　地平線
⑦　絵画
⑧　醗酵
⑨　依存
⑩　記憶

あと、数個ふやすかもしれません。
とりあえずは、上の 10 個でお願いいたします。

4/23. 月　夫から連絡がきて、別離の話し合いの日が 5/3 に決まる。部屋の片付けの集中力が増す。

▲からのメール　[RE: おつかれさま]
おつかれ

テーマの件、了解しました。
週末土日マーケット周ってみて､､､
結構厳しいです。
2 日間でほんのわずかしか買えてない｡｡｡
地方の大きなマーケットの日だったから本来ならウン十万円分は買わないといけないペースなんだよね｡｡｡
テーマとかお金の問題じゃなく買いたいものがない。
この先不安ですが、がんばります。

[RE: RE: おつかれさま]
連絡ありがとう。
お疲れさまです。
(気にしないでほしいんだけど、プレッシャーかけるつもりではなく)

自分の作品に関わることなので、いつもにも増して思いを馳せています。
この間、はなしてはじめて「買い付けの大変さ」を知りました。
制作にやっぱりちょっと似ているかもなとも。。。
目が慣れてくると、もっと見えてきたりするもんじゃないのかなとか、だったらやっぱり後半に良いものを手に入れられるのではないか？
とか想像を巡らせています。

体調に気をつけて。

テーマの「⑤　私」ですが、「私＝世界」にしてください。解釈は自由です。
御嶽の石探しは、月末から始める予定です。

4/24. 火　「これ」の目的は、同じキーワードを手がかりにそれぞれが見つけたもの同士に暗示的な何かが現れるのかどうかの実証実験。▲はパリでアンティーク雑貨を、わたしは石を拾う。

4/27. 金　御嶽山、麓の渓谷での石拾いは、2013 年の個展《パン※に石を入れた 17 の理由》からはじめた。【パン＝発酵：物質を高次元の物質に変化させること。自家製酵母を使ったパン作りも八年になる。最初にパンを作品に使ったのは、2010 年の個展《ベーグルを入れていた紙袋は空っぽに》。】この時はストーリー上に『御嶽』という地名を使っていたから必然的にその土地に縛られた。その時に「石はその土地自体の所有物であって、わたしは単に借りているだけ」という思いになって、作品で拝借した石は元あった場所に返すことにしている。御嶽は、▲ともよく訪れたところだし、石を借りたり返したりが便利な場所だ。

▲へメール　[元気ですか]
▲さま

お疲れさまです
どんな感じですか？

この買い付けでは、フランスから出ないのかな？ベルリンとか行かないよね？
前にわたしたブック展のカタログがベルリンのアートブックフェア 'Miss Read' で紹介されることになったので ...

また

▲からの返信。買い付けが芳しくないことが伝わる文面。

[RE: 元気ですか]

[RE: RE: 元気ですか]
そんなこともあるんだね

良いものを探しているからなの？

それともモノ自体が少ないの？

4/28. 土　ルノアール新宿区役所横店の一室を借り切って開催された読書会に参加。YY さん解説の「イザベラ・バード」。自分の予習不足を痛感したが面白かった。その後の懇親会は歌舞伎町の〈アルプス〉。YY さんから近代彫刻の概念などのお話をうかがう。その後、TR さんと、以前から行ってみたかった三丁目の〈どん底〉でワインを一杯だけ飲む。お店の雰囲気が美味しい。また来たい。

4/29. 日　ナディッフアパートでの TY くんと US くんの本※の刊行記念トークへ。【本＝書物：開かれ閉じるもの その都度に解釈が変わるもの _ ジャン＝リュック・ナンシー (2005)。「これ」がどのような形になるのか、まだ分からない。】次回の本の構想も聞けてとても面白かった。その後の二次会はたまたま居合わせた夫も同席。本の創作について話す。

5/ 1. 火　ワタリウム美術館にて、TN くんと TD 氏のトークに参加。「情」と「ヘイト」などについて。面白かった。
偶然居合わせた KR ちゃんと高円寺で飲むことに。よく冷えた瓶ビールが美味しいお店〈め組〉。

▲へメール。　[おはよう]

▲さま

調子はいかがですか？

▲からの返信。やはり上手くいっていないよう。

[RE: おはよう]

5/ 2. 水　片付け、掃除に集中する。気づけば手製のクローゼット、棚など立ち上がっている。この十一ヶ月間上手くできていなかった。やればできる。気分は軽い。

▲へメール。　[RE: RE: おはよう]
ふむふむ

では、キーワードは後付けするしか無いと決定したも同然ね〜

こちらを気にしないで、良いものを見つけられると良いね！
次のマーケットではきっと何か素敵なものがあるんじゃない！？

5/ 3. 木　別れの日。掃除、料理の下ごしらえ、パン生地を仕込んだ。庭の山椒を添えた筍の煮物を作りたかったが筍の高価さに断念。蕗と麩の煮物に変更。酒を買いに出ている間に夫到着。まず、心境の経緯を話す。少しだけ頭の奥が熱く湿った。夫も同意だったと言う。一部の滞りも無く終わる。飲む。食べる。不意に、「十八年間続けてきたことを止めたことってある？」元夫がつぶやくようにたずねた。わたしは、「煙草※。」と答えた。【煙草＝依存：確か十五歳〜三十六歳くらいまで吸っていたと思う。わたしは依存体質だ。別れの理由の一つは、夫依存症を克服するためだった。】「あなたとの関係がはじめて」と答えるべきだったのか。元夫の呆れ顔。ツマミが足りなくなり、彼の得意料理ペペロン枝豆をせがむ。終電まで飲む。駅の改札で見送り手を振った。自宅へ戻ると流しの洗い物が全て片付いていることに気づいた。

5/ 4. 金　祖母の見舞いのために木更津の実家へ。施設にいるはずの祖母がいとこ夫婦の家に帰っていた。前に会った時よりも更に小さく白くなった祖母は、わたしのことを辛うじて憶えていた。祖母が「自分が生きているうちに結婚式を挙げるか籍を入れるかどちらかはしろ」というので、三年前、祖母の九十四歳の誕生日に元夫と式を挙げることにした (籍は結局入れなかった。) のに、祖母は式の翌年には元夫のことを何もかも完全に忘れていた。

夜、両親と飲む。父が寝た後、母に別れたことを告げた。

▲へメール。　[こんにちは]
▲さま

そろそろ、上手く回り始めたんじゃない？

ところで、帰国はいつでしたっけ？

▲からの返信。　[RE: こんにちは]
帰国は 12 日です。

[RE: RE: こんにちは]
了解しました。
明日から最後の週末だから、最後の買い付けチャンス、なのかしら？
一応、キーワードのリマインドしておきます。
(気にしなくて良いです)

①　火
②　水
③　気 (空気)
④　土
⑤　私＝世界

⑥　地平線

⑦　絵画
⑧　醗酵
⑨　依存
⑩　記憶

5/ 5. 土　両親とドライブ。九十九里の海岸へ。水平線※を眺める。【水平線＝地平線：水平線と地平線、英語では同じ horizon だけど、わたしにとっては違う。わたしが描いていた絵は、いつも地平線だった。目的は、ものがたりの容れ物をつくることと孤独を眺めることだった。】

母はどこにでもありそうな貝殻を拾っていた。

夜は、吉祥寺のオンゴーイングで SY くん、EK くん、KS くん、YK くんのトークへ。軽く飲んでから居合わせた元夫と中華料理屋〈中華街〉へ。元夫の終バスを見送る。二月からメールのやり取りをするようになった AN さんと合流し、井の頭公園で缶ビールを飲む。会うのは三回目。本の話などする。500ml 缶を一本飲みきったところで終電。

5/ 7. 月　国分寺〈甚五郎〉で AO さんと飲む。〈ほんやら洞〉に場所を移し、さらに飲んで悪ふざける。AO さんのことは全然好きじゃない。

5/ 8. 火　西洋美術館で《プラド美術館展》を観るが、昨夜飲み過ぎたせいで観ていられなかった。

▲へメール。

[どう？]
▲さま

どう？

もう遅すぎると思うんだけど、キーワードを三つ足したいです …

⑪死
⑫書物
⑬ あなた＝宇宙

以上の合計 13 個です。

なにとぞ、よろしくお願いいたします。

5/ 9. 水　▲からの返信。

[RE: どう？]
明日コンテナ積み込みなんだけど、風引いたみたいでずっと寝てます。。。

[RE: RE: どう？]
またかい？

静かに寝て、あしたげんきになるとよいね

5/11. 金　国立科学博物館にて《人体展》を観る。あまりの混雑に辟易したが脳※のホルマリン漬けコーナーには魅かれた。脳の絵を量産していた十年前を思い出した。【脳＝記憶：感情、思考の中心的器官。2008 年の個展タイトルは《思い出せない》だった。】

sprout curation の ST さんの個展、Maki Fine Arts にて OR くんの個展を観る。二次会には行かず、元夫と軽く飲んで帰る。

5/12. 土　▲に「おかえり」のメールを入れる。

Takuro Someya Contemporary Art にて Y＋K の展示を観る。二次会へ元夫と共に参加。

▲から「ただいま」のメールを受けとる。

5/13. 日　制作が二段階目に入った。考えなければ。

5/15. 火　カナと家飲み。トマトは嫌いと言い、カレーは褒めてくれた。数日前の悪ふざけを彼女の友人が目撃していたことを聞くが狼狽えることはない。カナの声と話し方は、心地よい湿度をもっている。彼女の痛々しい無関心が懐かしい記憶を呼び醒ます。

5/17. 木　sprout curation にて SY さんと打ち合わせ。早速デザイナーの KT さんに連絡し後ほど待ち合わせることに。KAYOKOYUKI で《Science Window 展》を観る。新宿〈BERG〉でビールを一杯飲んでから〈珈琲西武〉にて KT さんと打ち合わせる。その後、KT さんと共に〈BERG〉に再度立ち寄り、ビールを一杯ずつ飲む。

5/19. 土　ギャラリーをいくつか廻ってから YS さんの「酒の会」に参加するため〈BLOCK HOUSE〉へ。やはり YS さんの生酒は美味しい。帰ろうとしたところで NY くんが合流。生酒をさらに一合ずつ飲んだ。その後、原宿〈ゆかり庵〉に移動し二人で飲むがこ

この格安ビールは体に合わない。

5/21. 月　栗城史多がエベレストで死んだ※ことをラジオから流れたニュースで知る。【死：山での滑落死をよく想像する。記憶の片隅に幼い頃の目撃の経験を発見し、それは剥がせない夢になった。2011 年、個展《山の夢》。この頃、山での死に様が語られるノンフィクションを読み漁っていた。何れにしても栗城は死ぬはずじゃなかったと思う。】

5/22. 火　▲の自宅で打ち合わせ。手土産はアイスクリーム。▲の妻の Y ちゃんも含め三人で 7 時間くらい飲む。

5/23. 水　NH 先生の自宅にて恒例のランチ会。いつも一緒に飲む OM さんが妊娠したとのことでめでたくノンアルコール。わたしひとりで赤ワインを一本空ける。

5/25. 金　Shugo Arts にて CM くん企画のグループ展オープニングパーティー。突然思い立ち、C くんにテキストの寄稿を依頼する。二次会はカジュアルなバー。精神とケミストリーなどについて話す。

5/26. 土　金継ぎ教室に参加。器四つ直す。この数年に手を付けられずに溜まっていた宿題が片付いていく。

5/28. 月　前日に買っておいた、モヒート用のミントとバジルの苗を庭に植える。
青山の〈360°バー〉のオープニングに顔を出す。こじんまりとして清潔感のあるホワイトキューブに、元夫の作品が似合いそうだと想像する。有楽町に移動し MUJI にて開催の TM くん個展のトークショーへ。TM くん、KT さん、AT さんが登壇。

5/29. 火　scai the bathhouse で開催の TN さんの個展オープニングパーティーへ。二次会では SK さん、SR、TM さん、IH さんらと同席。終電を乗り間違えて、自宅に帰れず目黒の実家に泊まる。

5/30. 水　〈珈琲西武〉で紙面デザインの打ち合わせ。打ち合わせ後、仕事を続行する KT さんの横で大人しく瓶ビールを飲む。読書をしながらビールを啜り、無言の時間、臙脂色のソファに沈殿していく感覚が心地よい。仕事を一段落させた KT さんと居酒屋に移動して軽く飲む。KT さんはかなり疲れた様子。

6/ 1. 金　AN さんを駅まで迎えにいく。缶ビールを片手にゆっくり歩いて家へ。市販のドレッシングをかけた豆腐のサラダ、大根の皮とヒマワリの種のきんぴら、味付け卵、大根の煮物。黴のはえたギターがあったことを思い出し、引っ張り出した。AN さんは、当たり前のことのようにチューニングをはじめる。家に楽器があるなんてことを忘れていたので不思議な感覚。弦が一本切れたけど、黒い棺桶の中の物体が二十年ぶりに息を吹き返し、美しい音色を奏でたことに驚いた。弾き語り、飲み、時間は当たり前に過ぎる。蝋燭に火※を灯す。【火：四元素の一つ。魂・純化・生命力・恋愛の象徴。】

6/ 2. 土　朝靄、水※の匂いの中、他人の背中を見送る。【水：四元素の一つ。流動性・子宮・女性の象徴。】
銀座のギャラリーを何軒か回り、神田 gallery N へ。アーティスト U さんと批評家の NT さんのトークを聞きにいく。面白い。その後のオープニングパーティーから二次会三次会へ。終電の車内で NT さんともう一お喋りして、知性の充実感を得た。

6/ 3. 日　TRさんに誘われ演劇を観るために東京芸術劇場へ。久しぶりの演劇鑑賞は思いの外、面白かった。終了後劇場横の広場でビールを一杯奢ってもらう。〈PRONT〉へ移動しもう一杯飲む。キューバや料理の話など。外はまだ明るく爽快な空気※の中、帰路。【空気：四元素の一つ。揮発性・霊的存在の象徴。】

6/ 5. 火　東京藝大にて、ラスコー壁画研究についての講義を聴く。
神田〈葡萄舎〉で SK さんと待ち合わせて飲む。作品の話や恋愛話など。SK さんが夜遅くに打ち合わせがあるとのことで九時過ぎには店を出て別れる。まだ時間が早かったので、西荻窪〈キャラバン〉に入れていたウズベキスタンのブランデーのボトルを引き取りに行って一杯飲む。ここにはもう来ない気がすると、ぼんやりと思う。AN さんから連絡が入り、落ち合うべくふらふらと歩くが会わず終い。他人から立ち現れ、すれ違い、また他人へと溶けていく。

6/ 8. 金　オペラシティにて、《五木田智夫展》を観る。その後、HAGIWARA PROJECTS で《Warm Front》を観た。

6/ 9. 土　武蔵野美術大学での会合。飲む。帰りに AY くんが家に寄り道して、缶ビールを飲みながら今夜の会合を振り返った。激しく降り出した雨をうまくやり過ごし帰った。

6/10. 日　青山スパイラルにて《日本 x キューバ交流展》を観る。KC と会い、打ち合わせ。KC と別れ、ASAKUSA で《Lili Reynaud-Dewar 展》を観る。その後、Takashi Somemiya Gallery にて IT くんの展示を観る。IT くん、友人の R さんと江戸川橋駅近くの中華料理屋にて飲む。十和田の個展でお世話になった IT くんとゆっくり話せて良かった。

6/13. 水　吉祥寺 Ongoing にて、NT くんの個展オープニング。元夫も同席。

6/16. 土　元夫と自宅で食事会。TR くんから教わったらっきょうの塩漬けがちょうどいい塩梅。刻んで冷や奴に乗せ、胡麻油をかけた。ゆで卵添えのルッコラサラダは、卵が半熟過ぎた。いつものパン、納豆とヨーグルトと唐辛子ペーストを混ぜたピンク色のパテ、カレー風味の野菜スープなど。相変わらず、わたしの腕のタトゥーを苦々しく見る。「あなたのお母さんと一緒にお風呂に入る可能性はもうないのだから良いじゃない。」と心の中でつぶやく。元夫の買ってきてくれたチーズケーキ、今のわたしには甘すぎた。

6/17. 日　昨夜の料理用に仕入れたパセリとオレガノの苗を庭に植える。
新宿 Krautraum にて、知人を含んだ三人展を観る。新宿〈BERG〉前で KT さんと待ち合わせ。友人から託されたものを渡し、

五分ほど立ち話をして別れる。KT さんと話すと自分が定点に戻れる気がして落ち着く。〈BERG〉に入りひとり一杯飲む。

ANONYME の展示会場へ。「今月 20 日、パリから到着する~~わたしたちの~~荷物を引取りに行く」ことを聞きひと安心。

その後、吉祥寺で途中下車して〈ミロ〉へ飲みに行く。椅子席はすべてカップルで埋まっていて、ひとり飲みの女三人が立ち飲みカウンターに並ぶ盛況ぶり。今宵最後の一杯を飲むために〈ハモニカ横丁〉へ。途中の交差点でアンドリューと名乗る西洋人に声を掛けられ、一緒に飲みたいと付いてきた。マンチェスター出身の技術者。彼の話す英語は分かったり、分からなかったり。ホテルの誘いを2-3回断ると二人分の会計を済まし店を出て行った。店のカウンターでそのままうたた寝する。誰かからのメールで目を覚まし、ボトルに半分以上残された赤ワインを握り帰路。アンドリューは孤独だった。

6/18. 月　大阪で大きな地震が起きた朝。

床下のシロアリのチェックをするために、大家から依頼された業者が来る。部屋の畳を上げ、あけられた穴の中は黒い土※の空間が拡がっていた。【土：四元素の一つ。個体・不浄・有機物の発生の象徴。】足下の世界、頭上の世界がほとんど交わらずに、同時に存在と移動を繰り返している。ときおり微かな物音がそれぞれの世界を繋ぐ。

MT さんのアーティストトークを聞くために東京造形大学へ。とても面白い。居合わせた MK さんにテキスト執筆の受諾を確認する。打上げは相原駅前の〈庄屋〉。このトークの企画者である元夫も参加。

6/20. 水　昨日摘んだクチナシの花が甘く香る目覚め。9,730km と百年を越えてくる荷物を▲が運ぶ。

高校二年生のクリスマス。女友だちと映画《プリティウーマン》を観た。それはチャーミングでとても情けない女の話だったと思う。見終わった後、なんだかとてもやるせない気持ちになって、確か、有楽町の映画館の周りを歩きながら話した。わたしが「来年はとっても良いことが起こると思うの。だって『1991』って何かいいカタチをしているから …」と言うと、彼女も「あたしもそう思ってた」と言った。だからわたしたちはそれを確信していた。1991 年の一月と三月にわたしたちは十七歳になった。彼女は、はじめての恋人と出会って、わたしは、もうひとりのわたしと出会った。

時は美しく過ぎ　静謐な奇跡と共に帰還する
気づくことさえできれば　欠片はそこら中に存在している